

シティ・プロモーションの目標について(まとめ)

■第1回会議を踏まえた地域の課題

- ・すでに少子高齢化が進展している。(人口)
- ・まちを通過点にする人が多い。(転入・転出)
- ・魅力の認知、創出ができていない。(愛着・誇り)

※【資料8】参照

■第2回会議から導き出されたキーワード…①

- ・日常にこそ価値がある。
- ・価値を感じるポイントはそれぞれ、それでいい。
- ・様々な暮らしを受け止める素地が、朝霞にはある。
- ・何者でもよい、懐の広さがある。

シティ・プロモーション ⇒ まちの持続可能な発展のための手段

■朝霞市がシティ・プロモーションで目指すこと…②

- ・朝霞のまちの魅力を認知してほしい。
- ・認知した魅力をそれぞれの言葉で語ってほしい。
- ・行政一体となってまちの魅力を創出し、発信したい。

■目標(状態)の例…③

【市内】

暮らす人や訪れる人がそれぞれに、自分好みの朝霞を持ち、様々な形でまちとの関わりを持っている。

【市外】

発信されるまちの魅力を通じて、選ばれるまちとしての知名度やイメージが向上している。

【行政】

「むさしのフロントあさか」のブランドイメージを市の施策に表現し、まちの価値や魅力を高めている。